

地方公共団体情報システム機構経営審議委員会会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

平成 26 年 11 月 28 日 (金) 11 時 00 分 ~ 12 時 00 分

(2) 場所

地方公共団体情報システム機構 会議室

2 出席委員の氏名

委員	大山	永昭
”	大島	敏男
”	石井	夏生利
”	大南	信也
”	北岡	有喜

3 議事の要領

別紙のとおり

以 上

地方公共団体情報システム機構

経営審議委員会委員長 大山 永昭

(別紙) 議事の要領

1 開会

理事長(挨拶)

2 議事

(1) 平成 26 年度 11 月補正予算(案)

委員長 議案第 1 号について、事務局からご説明願いたい。

なお、地方公共団体情報システム機構定款第 26 条第 2 項により、この議案第 1 号に対して委員会が付した意見は、来週書面で開催される代表者会議において、理事長から報告されることとなる。

事務局 (議案第 1 号の内容を説明)

委員長 事務局の説明について、意見又は質問はないか。

委員 中間サーバー・プラットフォームの負担金は、全ての地方公共団体が利用することを前提に算定しているが、万が一利用しない地方公共団体が多数出た場合はどうするのか。

事務局 負担割合等は検討が必要であるが、基本的には中間サーバー・プラットフォームを利用する地方公共団体に、いまの想定より少しずつ多くご負担いただくことになる。

委員 その場合は、その金額に応じた地方財政措置がされるということか。

事務局 各地方公共団体における中間サーバー・プラットフォームの利用の有無、どういった地方財政措置がされるかについては、平成 28 年度以降のことであるので、現時点では未定である。

委員 中間サーバー・プラットフォームを利用しない地方公共団体が増えることにより、利用する地方公共団体の負担が増えることを各首長は心配している。機構として、中間サーバー・プラットフォームを全ての地方公共団体に利用してもらうために、どのようなことを行うのか。

事務局 中間サーバー・プラットフォームを利用しないという地方公共団体については、セキュリティ面や費用面における中間サーバー・プラットフォームの優位性を説明し、利用していただくようお願いしていく。

委員 中間サーバー・プラットフォームの負担金はどのように算定しているのか。

事務局 一般的なクラウドサービスで利用されている算定方法を参考にした。具体的には、地方公共団体の人口区分ごとに、CPU、コア、メモリ及びハードディスクの使用量を算出し、これに基づき算定している。

委員長 中間サーバー・プラットフォームのセキュリティ要件については、どのように担保しているのか。

事務局 中間サーバー・プラットフォームのセキュリティ要件については、調達仕様書で規定している。また、調達仕様書については、外部有識者から構成される調達評価委員会でご確認いただいている。

委員長 経営審議委員会が調達仕様書の内容まで確認する必要はないと考えているが、調達の考え方については、経営審議委員会にご説明をいただきたい。

また、運用業務の中に、ソフトウェアの保守が含まれている。中間サーバーソフトウェアは、現在総務省で開発中と認識している。ソフトウェアの開発と並行して、ハードウェアを調達することになるが、万が一調達したハードウェアでソフトウェアが動かなかった場合、サポートは誰が行うのか。

事務局 このソフトウェアの保守の対象は、中間サーバー・プラットフォームで使用するOS及びデータベースソフトウェアである。

別途、中間サーバーソフトウェアの保守等については、総務省において検討中である。

委員長 他に質問はあるか。

また、経営審議委員会として議案第1号について特段の意見はあるか。

委員 議案第1号について意見はない。

しかし、中間サーバー・プラットフォームについては、各地方公共団体から負担金をいただくことになるので、経営審議委員会として、本日の議論を踏まえて

意見を提出してはどうか。

委員長 承知した。意見書案を作成するので、その間休憩とする。

(休憩)

委員長 経営審議委員会の意見書案を作成したので配付する。このように意見をとりまとめたいが、いかがか。

(異議なし)

委員長 代表者会議には、理事長から報告いただきたい。

4 閉会

委員長 以上で、第4回経営審議委員会を閉会する。

以上